

事業概要説明シート

事務事業番号 30999

事務事業名	生涯学習市民センター学習支援事業		
事業開始年度	平成18(2006)年度	担当部署	地域振興部生涯学習課

根拠法令	枚方市生涯学習市民センター条例、枚方市生涯学習市民センター条例施行規則		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(生涯学習市民センター8館は直営。生涯学習情報プラザはNPO法人ナルク天の川クラブに委託。)		
目的 (何のために)	生涯学習市民センターにおける学習支援を適正に行い、市民の生涯学習活動を推進すること		
対象 (誰・何を対象に)	市民		

事業内容	<p>■生涯学習市民センター(8館) <施設概要> ①施設概要:最大敷地面積4,200㎡、最大延べ床面積2,629㎡、最高14室を有する(最大定員200人のホール含む) ②運営内容:平成23年度実績で最高9,761件(1センター)の利用があり、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業実施、建物全体の維持管理を行う。 <学習支援事業> 以下の業務を行うため、市職員を配置している(直営)。 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供 ・生涯学習活動に係る人材の育成、交流の促進、その他生涯学習活動の支援 ・生涯学習活動や行政との連携によるまちづくり活動などに対してセンターの施設を提供</p> <p>■生涯学習情報プラザ(1館) <施設概要> ①施設概要:複合施設である輝きプラザきらら(総7階建)の1~2階に床面積1,837㎡、交流ルームと学習ルームの2室を貸出し(施設の維持管理は総務管理課が行っている) ②運営内容:平成23年度実績で、609件の利用があり、パソコン体験講座を通年開催。 <学習支援事業> ・窓口対応などの運営をNPO法人に委託している。 ・パソコン体験講座の実施</p>		
------	--	--	--

類似事業			
------	--	--	--

事業の必要性	市民主体の学習活動を支援し、コーディネートする体制が必要		
--------	------------------------------	--	--

コスト												
	H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	15.0	人	121,710	千円	13.2	人	106,626	千円	12.9	人	103,040	千円
再任用職員	6.47	人	22,697	千円	7.55	人	26,048	千円	7.55	人	26,206	千円
非常勤職員等	61.5	人	58,631	千円	62.8	人	54,817	千円	62.2	人	52,374	千円
人件費計(A)			203,038	千円			187,491	千円			181,620	千円
直接経費(B)			17,600	千円			17,452	千円			19,127	千円
総事業費(A+B)			220,638	千円			204,943	千円			200,747	千円

財源内訳												
	H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
国庫支出金			千円				千円				千円	
府支出金			千円				千円				千円	
受益者負担 (使用料等)			千円				千円				千円	
その他	3,807		千円		3,751		千円		4,740		千円	
一般財源	216,831		千円		201,192		千円		196,007		千円	

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	生涯学習情報プラザ運営委託		9,633 千円
	プラザ既設パソコン年間保守委託		611 千円
諸経費(利用者販売用印刷用紙類、許可申請書印刷、電話代、コピー機借り上げ等)		7,185 千円	

事業概要説明シート

事務事業番号 30999

事務事業名	生涯学習市民センター学習支援事業		
事業開始年度	平成18(2006)年度	担当部署	地域振興部生涯学習課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 生涯学習市民センターの利用率	%	60	62	62
② 生涯学習市民センターの利用件数	件	58,707	59,740	60,000	
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/総利用件数	円	3,758	3,431	3,319
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	生涯学習市民センター全体の利用率が60%以上				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	<p>平成18年10月に生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進体制の再編を行い、開館日を拡大したが職員体制を大幅に変更し人件費を低減した。平成23年2月に再編の検証を行い、利用促進に向けた運営の検討、運営体制の充実などを今後の課題としている。</p> <p>今年度は、利用率の低かった生涯学習情報プラザを、高齢社会室が所管する「生きがい創造学園」の事務局、事業実施場所として受入れ、施設の活性化を図った。同学園の委託先が生涯学習情報プラザの運営委託と同法人であることから、高齢社会室と連携し効率的な施設運営について検討する。総合文化施設の整備を踏まえ、市民ギャラリー・ふれあいホールおよび御殿山生涯学習美術センターの特徴を活かした運営のあり方について検討する。</p>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	利用率の向上を図るために、認知度の向上や利用促進に向けた運営のあり方の検討を行っていく。			
一次評価結果	・民間との連携により、効率化を検討する余地があるのではないか				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	利用率の向上を図るために、認知度の向上や利用促進に向けた運営のあり方の検討を行っていく。また、生涯学習情報プラザ等の効率的な運営について検討する。			